

令和8年2月6日

山梨県 防災局 消防保安課 消防指導担当

質問回答書

令和8年度 救急安心センターやまなし (#7119) 事業業務委託

【質問項目】

「やまなしモデル」の現時点での位置づけについて

【質問内容】

これまでの「やまなしモデル」（#やまなし版#7119の特徴）については、遠隔型支援と常設型支援を組み合わせたハイブリッド型の運営形態を特徴の一つとして構築・運用されてきたものと弊社では認識しております。

今回の募集要項において、あらたに追記された「全国水準を牽引する先導的なモデル」と表現されている部分に関して、現時点において県として整理・認識されている「やまなしモデル」の特徴や強み、また、従来からの取組の中で特に重視されている考え方や方向性がございましたら、当社の理解確認のためご教示いただけますと幸いです。

【回答】

・ #7119における緊急救度判定などは「人の判断+質的要素※」が重要であり、冷静さを失った利用者への対応や多様な症状に応じた正確な判断は事業者の医学的知見・症状聴取の精度、継続的な検証等が不可欠と考えます。

このため、配点表においても業務内容等に関する事項や利用者等への対応を重視しています。
※質的要素・・緊急救度判定の精度や心理的対応力など

【質問項目】

本仕様における「やまなしモデル」の救急医療相談の方向性について

【質問内容】

本仕様における「やまなしモデル」の救急医療相談の方向性について、現時点で県として想定されている基本的な考え方をございましたらご教示ください。

例

- ①消防庁プロトコル型本来の運用方式を基本とする運営方式
- ②相談員裁量型を組み込んだハイブリッドモデルとする
- ③上記に限らない独自の整理・方向性 弊社としては、いずれの方式についても特性や留意点があると考えており、県として現時点で重視されている方向性や考え方をございましたら、提案検討にあたっての認識整理のため、差し支えない範囲でご教示いただけますと幸いです。

【回答】

- ・①消防庁プロトコル型本来の運用方式を基本とする運営方式が基本となります。

【質問項目】

プロポーザル提案における配点表記載の【8. 事業の特性に応じた運営】の整理について

【質問内容】

プロポーザル提案配点表に記載の、【8. 事業の特性に応じた運営】にある、「それぞれの項目について、基本的な考え方、具体的な取組み、ならびにそれを実現し継続するための方策が明示されているか」という評価の観点については、配点表の項目1~9（※8を除く）における各提案内容の中で示すことを想定すればよいのか、それとも、当該内容を抜粋した上で、下記の項目において改めて記載する必要があるのか、ご教示いただければと存じます。

【回答】

- ・企画提案概要（様式4）にて配点表と同様の項目を例示しており、例示した項目は必ず記載することとしています。